

令和4年度当初予算編成方針

1 長期ビジョンに基づく県政推進

(1) 県民の声を聴き、価値創造型の施策を立案

- ・「徹底現場主義」の考え方にに基づき、新たな行政課題に対応
- ・市町長との政策ディスカッションなどを通じ、市町と一体となった施策を展開
- ・データ分析など客観的な情報に基づく政策立案（EBPM）や、より効果的な実現に向けた政策デザインを推進
- ・長期ビジョンに即し政策ディスカッションの議論を経た事業について、新たに重点政策要求枠を創設し、重要な政策課題に予算を重点配分

(2) 将来像の実現に向けた施策を強力に推進

- ・北陸新幹線開業に向けたまちづくり・にぎわいづくりを加速
- ・全国のモデルとなる子育て環境の整備、社会づくりを実現

2 DX推進によるポストコロナの社会づくり

- ・マイナンバーカードの利活用をはじめ、DXを大胆に推進することで、生活、産業、行政のあり方を変革
- ・コロナ禍を転機とした移住を促進し、「分散型国家」への転換を推進
- ・ポストコロナを見据えた県内企業への支援を実施し、円滑な県内経済回復を実現
- ・万一、感染が再拡大した場合でも県民の安心・安全を守る体制を構築

3 国の予算編成への的確な対応と徹底した行財政改革の実行

- ・国の予算編成の動向について情報収集・分析を徹底し、的確に予算要求に反映
- ・「行財政改革アクションプラン」に基づく改革を着実に実施し、中長期的な健全財政を確保
- ・「政策トライアル枠予算」および「チャレンジ政策提案」制度を継続
- ・今後の新型コロナウイルス感染拡大の影響により県税収入の見込みが不透明な中、事業実施の必要性や方法を再検討し、徹底したスクラップ&ビルドを実施

【要求基準の設定】

- | | |
|-----------|---------------------------|
| (1) 経常的経費 | 100%以内 |
| (2) 政策的経費 | 90%以内 |
| (3) 投資的経費 | 国の予算や地方財政計画等を踏まえ予算編成過程で決定 |

※別途、重点政策要求枠において、シーリング削減額の2倍の予算要求が可能